

2018

2号

トトモニ

しおじり協働通信
平成29年度

ご自由にお持ちください

トトモニ

2号
2018

しおじり協働通信トトモニ 平成29年度 第2号 (1月発行)

TAKE FREE



特集『あの人とともに』

子どものミカタプロジェクト

上間 春江 さん
高瀬 志保 さん
矢崎 美和 さん

「見方」を学んで
「味方」になるう！

市民のみなさんへお知らせ

●まちチャレセミナー

『三方よしから学ぶ
地域課題解決の仕組みづくり』

参加者募集中！

市民のみなさんへ お知らせ

平成29年度まちチャレセミナー 第6回目参加者募集中！

三方よしから学ぶ

地域課題解決の仕組みづくり

売り手も買い手ともに満足して、さらに社会貢献にもなるという**三方よしの商売や活動**を目指している方は少なくないと思います。さまざまな地域課題がある現在、企業や行政、NPO、そして、市民はどのような取り組みができるのでしょうか？それぞれの立場を活かしながら、課題に取り組む新しい仕組みづくりについて、**三方よしを心得ながら商売をしていたという近江商人ゆかりの地、滋賀県**から講師をお招きして、最新事例を学びます。

講師・講座内容



いけど ひろおみ

池戸 洋臣 さん

東近江市総務部まちづくり協働課

1996年、旧蒲生町役場入庁。2006年の市町合併後は財政課、東近江行政組合等を経て、2016年からはまちづくり協働課で勤務。自治会やまちづくり協議会など市民活動支援に取り組む。東近江市内でもたくさんの熱心な活動が展開されており、それぞれの活動が互いに結びついている。こうした、あたたかい志の数珠つなぎの一端となるべく、日々、楽しみながら地域の活動の伴走支援に携わっている。

日時：2018年2月17日(土) 13:00 ~ 15:30

場所：塩尻市市民交流センター えんぱーく 5階 イベントホール

定員：20名程度 (申し込み先着順、どなたでも参加できます)

対象：地域課題解決に関心のある個人、企業、NPO、行政の方、
地域活動に取り組んでいる方 等

内容：近江商人の三方よしの具体例、
滋賀県東近江市における協働・地域活動の先進事例
ソーシャル・インパクト・ボンド 等

申込み：塩尻市市民交流センター 交流支援課、NPO法人えんのわ

参加
無料!

市民公益活動に関する掲載記事やお知らせを募集しています！ 詳しくは、えんのわまで！

本誌に関する
お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350(内線4221)
E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320
E-mail:ennowa@hotmail.co.jp

「見方」を学んで 「味方」になろう！ 子どものミカタ プロジェクト

絶賛子育て中のママたちが、今から約3年前の5月にとあるプロジェクトを立ち上げた。子育て中の母親たちや教育に従事する教員らの心のサポートを行っている市民活動団体、「子どもミカタプロジェクト」だ。中心メンバーで同プロジェクト代表の上間春江さん、副代表の高瀬志保さんは、現役の臨床心理士としてスクールカウンセラー等も務めながら活動している。また、広報を務める矢崎美和さんは大学で教育学を専攻後、勤務したテレビ局で得たスキルを活かして活動のプロモーション



ン等を担当している。上間さんたちは、「何か子どもたちのためになる企画をやりたいねと、臨床心理士の仲間同士でしていた話が盛り上がり始めてしまったんです」と、自身が不登校や発達障害を専門とする臨床心理士であること、母親として子育ての経験も活かせることにフォーカスした。そして始めたのが、母親や現場で子どもと接している教員らへの心のフォローだった。「子育ては多くの悩みと向き合う日々です。自分たちも母親とし



広報
矢崎 美和 さん

て経験している「子育てのイライラ」を少しでも軽くするお手伝いができればと思っています。

同プロジェクトでは、塩尻市まちづくりチャレンジ事業の補助を受け、子育てに関する悩みの相談会「ママのミカタカフェ」等を開催している。参加者からも「イライラの原因が共通していて、自分だけではないん

だ！と共感できて気持ちが楽になったし、嬉しかった」など、反応も良い。

同プロジェクトのキーワードとなる「ミカタ」には、「見方」と「味方」の意味が込められている。上間さんたちは「子育てではうまくいかないパターンが印象に残りがち。でもうまくいくパターンも必ずあるんです。その「見方」を身に着けて、自分や子どもの「味方」になるための方法を、ポイントを押さえてお伝えしています。多くの方の悩みが解決して、子どもがより元気に育つ地域になると素敵ですよね」と、笑顔で話す。

見方を変えると現実が変わる。もし子どもと接する中で息苦しい思いがあるのなら、一度訪れてみてはどうだろう。



副代表
高瀬 志保 さん

代表
上間 春江 さん

写真提供：矢崎美和(子どものミカタプロジェクト)

まちチャレ情報

まちづくりチャレンジ事業の種類 **発展型**: ステップアップ / **体験型**: トライアル

ステップアップ	ステップアップ	ステップアップ	ステップアップ
① 特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 助成額 20万円 事業名 信州ふれあい食堂 子どもたちが安心感と自己肯定感を抱ける居場所づくり。	② ちび商人(あきんど) 助成額 40万円 事業名 地元産の旬の「美味しい」を地元の皆さんに届けるプチマルシェ「ちび商人」 地元で取れた旬の野菜の消費拡大を図りながら、人と人とのつながりを創出する。	③ さつき会 助成額 40万円 事業名 勝弦(かつづる)地域魅力アップ事業 勝弦地域の魅力を高め、観光資源の整備を行うことで観光客の回遊、誘致につなげる。	④ 塩尻「学び」マネジメント 助成額 40万円 事業名 自主的・協働的な学びを実践する「学び」のマネジメント 子どもたちの主体的・協働的な「学び」を実践し、人間関係づくりと学力向上につなげる。

塩尻市では、協働のまちづくり基金を活用して新たなまちづくりの担い手となる団体や活動を応援する補助金を交付しています。平成29年度まちづくりチャレンジ事業では、公開選考会を経て7事業が採択されています。

トライアル	トライアル	トライアル
① おひさまの会 助成額 10万円 事業名 おひさまの会「おはなしリズムの始まり始まり」 読み聞かせやパネルシアターやリズム等と触れ合う機会を増やし、子育ての環境として地域社会に貢献していく。	② 子どものミカタプロジェクト 助成額 10万円 事業名 子育てサポートコミュニティママのミカタカフェ 子育てをよりよいものになりたいと願う大人たちが、子どもや自分自身の「味方」になってサポートを行うこと。	③ 宮下地区お助け隊 助成額 10万円 事業名 歩け歩け運動の安全な専用道 ウォーキング用の遊歩道の整備による地域住民の健康増進及び地域間コミュニケーションの醸成。

